



平成30年度全道少年U-128人制サッカー大会兼  
第15回JA全農杯千ピリンピック  
小学生8人制サッカー大会北海道予選  
札幌地区予選

**全道大会進出おめでとう！！**

北海道コンサドーレ札幌 U-12B  
北海道コンサドーレ札幌 U-12A

札幌地区代表を目指し、36チームが4ブロックに分かれてのトーナメント戦。3ピリオド制の熱戦が繰り広げられました。上記2チームが全道大会に進出しました。

10月15日(日) 11:00 コンサドーレG  
札幌第一代表決定戦

クラブフィールズ

北海道コンサドーレ  
札幌 U-12B

0

0-0  
0-1  
0-0

1

全道大会出場をかけた一戦、立ち上がりはパスをつなぎゴールを狙うコンサドーレBに対し、フィールズは中盤での厳しいプレスからの素早い攻撃を見せる。しかし、徐々にコンサドーレBはフィールズのプレスに慣れ、フィールズゴールに襲い掛かる。5分に2番、6分に5番が立て続けにミドルシュートを放ち、9分にはスルーパスに抜け出した7番がポスト直撃の強烈なシュートを放つ。コンサドーレBが幾度もチャンスをつくるも、フィールズの気持ちの入ったディフェンスに阻まれ、0対0で第1ピリオドを終える。

第2ピリオド開始直後の2分、味方からの縦パスに抜け出したコンサドーレB10番がシュート、1度

# きずな

キーパーにはじかれるも、こぼれ球を押し込み、コンサドーレBが先制に成功する。一瞬の隙を突かれ得点を許したフィールズだったが、その後は厳しい守備で相手を自由にさせない。6分には、フィールズが高い位置でのパスカットからシュートを放つも、キーパー正面。互いに激しい奪い合いが続き、チャンスをつくらせることなく第2ピリオドが終了する。

第3ピリオドに入ると、互いに攻めあう展開に。4分、コンサドーレB11番がボールカットから左足でシュートを放つと、7分には、フィールズがコーナーキックのこぼれ球をシュート。9分には、フィールズが左サイドから崩しシュートを放つもコンサドーレBキーパーの好セーブに阻まれる。追いつきたいフィールズはさらに攻め立てるも、コンサドーレBからゴール奪うことはできず、1対0のまま試合終了。北海道コンサドーレ札幌 U-12B が全道大会への切符を手に入れた。



10月15日(日) 12:00 コンサドーレG 第二代表決定戦		
北海道コンサドーレ 札幌 U-12A		AGGREU-12
3	1-0 0-0 2-0	0

全道大会二枠目をかけた大一番、立ち上がりからコンサドーレAが攻め立てる。2分、コーナーキックにヘディングで合わせ、コンサドーレAが惜しい場面をつくる。直後の4分、コンサドーレA11番が相手のボールを奪い、ドリブルからシュートを放つと、ボールはゴール右下に吸い込まれ、コンサドーレAが先制点を挙げる。コンサドーレAは攻撃の手を緩めず、サイド突破、ミドルシュートなどでAGGREゴールを狙うが、AGGREはキーパーを中心に懸命に跳ね返し、追加点を与えない。1点差で第1ピリオドを終える。

第2ピリオドに入ると、AGGREも攻めに転じる。積極的にプレスをかけて、相手にチャンスを与えず、高い位置でボールを奪いコンサドーレA陣内に押し込んでいく。しかし、コンサドーレAの厚い守備に阻まれ決定機をつくることはできず、互いに得点を奪えぬまま第2ピリオドは終了する。

緊迫した状況が続いたが第3ピリオド立ち上がりにスコアが動く。3分、コンサドーレA11番がディフェンスの裏に抜け出しシュート、AGGREキーパーにはじかれるも、つめていた15番が押し込み、コンサドーレAが追加点を挙げる。直後の4分には、左サイドからのセンタリングにコンサドーレA15番が合わせて、この試合2点目を決める。追いかけるAGGREは、7分に15番のフリーキックに11番が合わせるが、コンサドーレAキーパーが好セーブ。終了間際の12分に、パスカットしたAGGRE4番がシュートを放つが、キーパーにキャッチされ試合終了。北海道コンサドーレ札幌U-12Aが3対0で勝利し、全道大会出場を決めた。



10月15日(日) 9:00 コンサドーレG Aブロック準決勝		
大谷地		クラブフィールズ
0	0-0 0-2 0-0	2

立ち上がりは大谷地が両サイドから攻め込む。2分、ロングボールでフィールズのディフェンスの裏に抜け出しシュートを放つも決まらず。続けてコーナーキックをヘディングであわせるもキーパーにキャッチされる。その後もサイド突破から攻め立て、積極的にシュートを打つも、フィールズの体を張った堅い守備にはじかれ、点を決めることができない。大谷地が再三チャンスをつくったが、0対0で第1ピリオドを終える。

第2ピリオドは一転して、フィールズが攻め込む展開に。立ち上がりの2分、フィールズ28番がペナルティアーク付近からロングシュートを決め、先制する。さらに4分、右コーナーキックからフィールズ30番がダイレクトシュートを放ち、追加点をあげる。その後もフィールズがテンポ良くボールを回し、チャンスをつくるも決めきることはできず。第2ピリオドはフィールズが2点リードで終了する。

第3ピリオドに入ると中盤での激しい奪い合いが続く、一進一退の攻防に。両チームとも幾度かゴール前まで運ぶも、互いに集中した守備でシュートを打たせない。追いかける大谷地は必死に仕掛けるもゴールにはつながらず、そのまま2対0で試合が終了。クラブフィールズが代表決定戦へと駒を進めた。





レBの7番にペナルティエリア内での個人技からゴールを許し万事休す。5対0で北海道コンサドーレ札幌 U-12B が勝利し、代表決定戦に進出した。



10月15日(日) 9:00 コンサドーレG Bブロック準決勝		
NORTE 札幌 FC U-12	北海道コンサドーレ 札幌 U-12B	
0	0-1 0-1 0-3	5

コンサドーレ B のキックオフで試合開始。互いに激しく奪い合う拮抗した立ち上がりだったが、徐々にコンサドーレ B がパスを回すようになり、NORTE 陣内に攻め込んでいく。8分にコンサドーレ B がペナルティエリア手前でフリーキックを獲得すると、10番の右足から放たれたシュートはゴール左隅に決まり、コンサドーレ B が先制する。NORTE は、ゴール前でのドリブル突破からおいしいシュートを放つも決めることはできず、コンサドーレ B が1点リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドもコンサドーレ B 優勢で試合が進む。9分、パスを受けたコンサドーレ B の18番が、巧みなコントロールでNORTE ディフェンスラインの裏に抜け出しシュート、コンサドーレ B が追加点を挙げる。

第3ピリオドに入ると、5分にコンサドーレ B はコーナーキックを押し込んで追加点。7分にはスルーパスに抜け出した11番が落ち着いてゴールに流し込んで、コンサドーレ B が4対0とリードを広げる。追いつきたいNORTE は、味方からのスルーパスに抜け出した7番がシュートを放つも、キーパーに阻まれる。その後も積極的にプレスをかけ、攻撃のチャンスをつくるが、試合終了間際、コンサドー

10月15日(日) 10:00 コンサドーレG Cブロック準決勝		
北海道コンサドーレ 札幌 U-12A	LIV FOOTBALLCLUB	
3	1-0 1-0 1-0	0

コンサドーレ A のキックオフで試合開始。立ち上がりからピッチをワイドに使ったパス回しで、コンサドーレ A が LIV ゴールに襲い掛かる。4分、コンサドーレ A が右サイドの突破からセンタリングを上げ、ヘディングシュートを放つと、その後も両サイドから何度もチャンスをつくる。すると6分、左サイドからのクロスを受けたコンサドーレ A11番がゴール右隅にシュートを決め、先制する。LIV は失点したものの、高い集中力でコンサドーレ A の攻撃をはね返し、1対0で第1ピリオドを終える。

第2ピリオドもコンサドーレ A ペースで試合が進む。8分、右サイドから横パスを受けたコンサドーレ A7番が、ペナルティエリア中央右から豪快なミドルシュートを放つ。ボールはゴール左サイドネットに突き刺さり、コンサドーレ A がリードを2点に広げる。LIV は徐々にポジションを高め、コンサドーレ A ゴール前に押し込むも得点には至らず。

第3ピリオドに入ると、追いつきたいLIVは、より積極的にプレスをかけ、コンサドーレ A ゴールを目指す。LIV41番が高い位置で横パスをインターセプトし、ペナルティエリア外側から惜しいシュート

を放つ。しかし10分、コンサドーレAはコーナーキックを14番が押し込んで3対0とし、そのまま試合終了。北海道コンサドーレ札幌 U-12A が代表決定戦進出を決めた。



突入する。

延長前半1分、AGGREは相手のゴールキックをカットすると、1人かわしてシュート、ボールはゴール左隅に決まり、AGGREが先制する。追いかけるアスルクラロは、スループスを多用しAGGREゴールに迫るが、相手の厚い守備に阻まれシュートを打てず。互いに死力を尽くした好ゲームは、1対0でAGGRE U-12が勝利し、代表決定戦に進出した。



10月15日(日) 10:00 コンサドーレG Dブロック準決勝		
アスルクラロ札幌 U-12		AGGREU-12
0	0-0 0-0 0-0 0延長1	1

冷たい風が吹き付ける中での一戦、互いに拮抗した立ち上がりとなった。アスルクラロはテンポ良くパスを回しボールを保持するが、対するAGGREは前から厳しいプレスで相手に自由を与えない。中盤での一進一退の攻防が続いたが、徐々にAGGREのプレスがアスルクラロを追い詰めていく。5分、AGGREはインターセプトから相手を1人かわしミドルシュートを放つ。その後もAGGREは高い位置でのカットから積極的にシュートを打つが、アスルクラロはしっかりとシュートをブロックし得点を与えない。第1ピリオドは0対0で終了する。

第2ピリオドも互いに激しい奪い合いが続く。6分、AGGREはペナルティエリア外からシュートを放つが僅かにゴール左に外れる。一方アスルクラロは、8分に34番がハーフラインを越えたあたりからドリブルを開始、キーパーと1対1になるもシュートは枠の左へ。互いにチャンスをつくるも決めきることにはできず。第3ピリオドも、両者惜しい場面はあったもののゴールは決まらず、試合は延長戦に